

平成28年度

東京藝術大学美術学部先端芸術表現科

入学者選抜試験 第一次試験問題 素描

■問題

鏡を見て、4年後の自分を描きなさい。

■補足説明

用紙は縦位置で使用しなさい。

■試験時間 10:30～16:00

昼食時間 12:00～13:00（昼食時間に試験を続けてもよい）

■配布物 問題用紙、

鏡、木炭紙大画用紙（イラストボード）1枚、カルトン、
クリップ2個、下書き用紙（A4）3枚、画びょう5個

■注意 使用できるのは、黒鉛筆素描に必要な用具一式。

他の受験生に迷惑のかかる行為を禁止する。

平成28年度

東京藝術大学美術学部先端芸術表現科

入学者選抜試験 第一次試験問題 小論文

問題1

課題文は人造人間および人形を主題とする古今東西の神話や物語について書かれたものである。この文章を読み、紹介されている人造人間または人形のエピソードの中で最も印象に残ったものをひとつ挙げ、そのエピソードを選んだ理由を500字以内で説明しなさい。

解答は解答用紙の間1-①に記述しなさい。

また、課題文の傍線部①の「不吉な匂い」とは何を表しているのかを考え、人造人間をつくることについての自分の考えを500字以内で述べなさい。

解答は解答用紙の間1-②に記述しなさい。

問題2

これまでのあなたの人生を振り返り、自分の身代わりが欲しいと思った瞬間について具体的に状況を説明し、その時に身代わりに特別な能力をひとつ与えることができたとしたら、どんな力を与えたかったかを解答用紙の間2に500字以内で記述しなさい。

問題3

あなたがあなた自身を思い通りに造れる存在だと想定し、4年後の自分はどこで何をしているのかを具体的かつ自由に想像して750字～1000字で解答用紙の間3に記述しなさい。

試験時間 10:30～16:00

昼食時間 12:00～13:00 (昼食時間に試験を続けてもよい)

平成 28 年 東京藝術大学美術学部先端芸術表現科
入学者選抜試験 総合実技 1 日目 (3 月 2 日)

問題 1

自分と同じ名前の人形を作ってみよう。

※人形は制作台 (45cm×45cm) の上に立ち姿として提出してください。

※配布された材料を使用しなさい。(配布された材料は全て使用しなくてもよい)

問題 2

自分と同じ名前の人形が、今の自分に話しかける台詞 (せりふ) を以下の書き出しで書いてみよう。

※「初めまして、(自分の名前)さんへ。」(これ以降を含め総文字数は 160 字以上 200 字以内)

※問題 2 の解答用紙 2 枚に同じものを書きなさい。

※白は提出用、緑は持ち帰り用になります。

明日の予告・準備

明日の総合実技 2 日目で、人形の台詞 (せりふ) を自分で喋ってみよう。
家 (もしくは宿泊先) に帰ったら、人形の台詞を持ち帰って、鏡を見ながら声を出して自分に喋ってみよう。

※暗記しなくても書いた台詞を見ながらでよいです。

試験時間 : 10 時 ~ 15 時 30 分

昼食時間 : 12 時 ~ 13 時 (昼食時間に解答を続けてもよい)

作品提出 : 本日 15 時 30 分

平成 28 年 東京藝術大学美術学部先端芸術表現科
入学者選抜試験 総合実技 1 日目 (3 月 2 日)

配布物リスト

【配布物】

注意事項 1 枚
配布物リスト 1 枚 (この用紙)
制作台の作り方 1 枚
カッターマット 1 枚

千枚通し、ペンチ 各 1 本
制作台 (45cm×45cm)、アンカー 1 本
針 (小 1 本・大 1 本)
A4 コピー紙 5 枚 (スケッチ等に使用)

【材料】

ダンボール(厚) 1 枚 (90cm×45cm)
ダンボール(薄) 1 枚 (100cm×45cm)
半紙 5 枚
白ボール厚紙 1 枚
スポンジ 1 個
角材 (0.7cm×0.7cm×90cm) 3 本
竹ひご 90cm 5 本
針金 (1.2mm 1 巻)
折り紙 1 セット

マスキングテープ 1 個
養生テープ 1 個
綿
糸、タコ糸 各 1 巻
新聞紙 (シュレッド済) 1 袋
布 1 枚 (90cm×90cm)
紙粘土 1 個
ビニール袋 3 枚
ゴム紐 2 m